

人文学部日本文学学科カリキュラム

124J

学科目群はキリスト教科目群、全学共通科目群、教養科目群、専門科目群からなっている。

卒業するためには表1のように単位を修得しなければならない。表1の単位数はそれぞれ卒業に必要な最低単位数である。

表1-1 日本文学学科

学 科 目 群	卒 業 最 低 必 要 単 位 数						備 考	
	必修	選択必修	選択	小計	自由選択	合計		
キリスト教科目群	キリスト教基礎科目	4			12			
	キリスト教関連科目		4					
	キリスト教専門科目	4						
全学共通科目群	英語科目	4	4	11				
	第二外国語科目							
	デジタル・シティズンシップ科目	2						
	スポーツ科目							
	キャリア教育科目	1						
	日本社会・地域学科目							
	サービスラーニング科目							
海外研修科目								
教養科目群	人間理解への基盤を学ぶ		8	8	34	124		
	社会理解への基盤を学ぶ							
	自然理解への基盤を学ぶ							
専門科目群	共通専門科目	3	41	59				
	学科基礎科目							10
	文化論・比較文化系							
	文学・語学系							
	歴史・思想系							
	応用科目							
	関連科目							
	演習科目	4						
修了科目		1						
教 職 関 連 科 目							教職関連科目は一部卒業要件の外	
合 計	22	27	41	90	34	124		

表1-2 日本文化学科 留学生

学 科 目 群	卒 業 最 低 必 要 単 位 数						備 考
	必修	選択必修	選択	小計	自由選択	合計	
キリスト教科目群	キリスト教基礎科目	4*1			12		*1日本語通常課程の際に履修する
	キリスト教関連科目		4				
	キリスト教専門科目	4					
全学共通科目群	日本語科目	10*2			17		*2入学時に、日本語通常前期と判定された留学生の場合 語学科目の履修方法はP.163～166参照 *3日本語通常課程の際に履修する
	英語科目		4				
	第二外国語科目						
	デジタル・シテイズンシップ科目	2*3					
	スポーツ科目						
	キャリア教育科目	1					
	日本社会・地域学科目						
	サービスラーニング科目						
海外研修科目							
教養科目群	人間理解への基盤を学ぶ		8		8		
	社会理解への基盤を学ぶ						
	自然理解への基盤を学ぶ						
専門科目群	共通専門科目	3*4		31	49		*4「基礎教育入門（書き方）」、「文章表現法」は、日本語通常課程の際に履修する
	学科基礎科目		10				
	文化論・比較文化系						
	文学・語学系						
	歴史思想系						
	応用科目						
	関連科目						
	演習科目	4					
修了科目		1					
教職関連科目							教職関連科目は一部卒業要件の外
合 計	28	27	31	86	38	124	

1. 用語の説明

- 卒業要件**=卒業するために必要な条件
- 必修**=当該科目の履修が卒業要件となっているもの。
- 選択必修**=いくつかの授業科目の中から一定単位履修することが卒業要件となっているもの。
- 選択**=卒業に必要な単位数として数えられるが、「必修」でも「選択必修」でもないもの。
- 開講期**=春：春学期に開講される科目
秋：秋学期に開講される科目
通年：1年を通じて開講される科目
集中：特定の曜日／時限以外、あるいは上記の通常講義期間以外で行われる授業。
別途日程を調整したうえで実施する。
- 印：週1回授業
◎印：週2回授業

対象学年=科目を履修することができる年次が記されている。1年次生では2年次以上に配当されている科目の履修はできない。2年次生以上は原則として1年次生配当の科目を履修することができる。

人数制限科目=履修希望者が集中した科目について、人数制限をする。

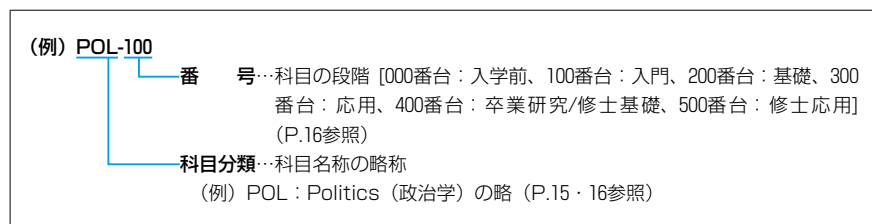
ステップアップ=ローマ数字が記載されている科目は、ステップアップ科目と呼び、Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ→Ⅳの順に履修しなければならない。

2. 科目ナンバリング

本学では「**科目ナンバリング**」を導入している。

科目ナンバリングとは、授業科目に適切な番号を付し分類することで、学修の段階や履修順序、科目間の連携等を表し、教育課程の体系性を明示する仕組みのことで、学生が科目の水準や専門性に応じて、適切な授業科目を選択する際の助けとなる。

ナンバリングは「**科目分類（略称）**」、「**段階を表す番号**」の**組み合わせ**で表記される。



科目ナンバリングは、学生要覧カリキュラム表やシラバスに記載されている。

3. 各学期において履修できる単位数は、20単位を目安とし24単位を上限とする。

ただし、認定科目 (P.193「単位認定について」参照) や資格課程の一部の科目は上限単位に含まれない。

4. 自由選択科目について

卒業に必要な最低単位数124単位から、キリスト教科科目群の最低単位数、全学共通科目群の最低単位数、教養科目群の最低単位数および専門科目群の最低単位数を除いた単位を自由選択科目と呼ぶ。これは、キリスト教科科目群、全学共通科目群、教養科目群、専門科目群、他学部・他学科の専門科目群のいずれかから履修してもよい。教職課程履修者は、特定の教職関連科目群からも履修できる。

5. 以下の科目に関しては、クラスが指定されているので、確認の上履修すること。

キリスト教概論A・B、基礎教育入門（書き方）、英語科目（留学生は日本語科目）、情報基礎、キャリアデザイン、文章表現法

留学生は、入学時の日本語課程によって異なる。

入学時『日本語基礎前期』、『日本語基礎後期』の場合、『日本語通常』に進級後、科目の開講期に合わせて履修する。

6. 「日本文化概論」について

「日本文化概論」は1年次に全員履修しなければならない。4年間の学びの計画ならびに卒業後の進路を視野に入れた人生計画について、早い段階でこれを意識することを目的として設置している科目である。

留学生も、いずれの日本語課程であっても、1年次に履修すること。